国立大学法人
大阪教育大学

大阪教育大学教員養成美術教育講座　加藤 可奈衛、谷村 さくら、青木 宏子
大阪教育大学附属特別支援学校小学部　大渕　周平、下岡 花子

2018年度　附属特別支援学校と美術教育講座の連携活動
附属特別支援学校小学部「どろんこプロジェクト」

[えがく・つくる]の授業を中心として粘土遊び（土粘土の再生～粘土を叩く・割る・ふるいにかける～、粘土作り、成形・作品作りなど）に取り組みました。

＜活動のねらい＞
- 大阪教育大学附属特別支援学校小学部と大阪教育大学美術教育講座の連携の促進
- 知的障害特別支援学校における手指の巧緻性発達を促すプロジェクト開発
- 主体的・対話的で深い学びに導くための支援や環境設定の構築

	日時	場所	内容	参加者	スタッフ	記録
1	2018/7/31 16:00~18:00	附特支 多目的室B	第一回打ち合わせ		加藤、大渕、下岡、	次回打ち合わせ、日程確認
2	2018/8/31 11:00~12:00	附特支：集会室	第二回打ち合わせ 9月8日学部PTA準備		加藤、谷村、青木、大渕、下岡	粘土の再生、粘土を叩く、割る、ふるいにかける、ドロ粘土つくり、石膏almで粘土ほがし。これらの体験工程に決定。
3	2018/9/6 11:15~12:00	附特支：集会室	学部PTA「保護者体験ワークショップ」	特支小学部保護者16名（全保護者参加）	加藤、青木、大渕、下岡	保護者参加。粘土ほがしの工程から着重を作成、大学へ。
4	2018/9/11 11:00~12:00	附特支：集会室	小学部「えがく・つくる」「どろんこプロジェクト」第1回	小学部児童1年～6年 全児童16名参加	加藤、谷村、青木、大渕、下岡 小学部教員6名	6日の工程を行った。 粘土への工程は行わず。 クラスごと、楽しんでできた。
5	2018/9/11 12:00~13:00	附特支：集会室	第三回打ち合わせ		加藤、谷村、青木、大渕、下岡	次回打ち合わせ、日程、内容の確認
6	2018/9/12 11:20~12:00	附特支：3組教室	小学部「えがく・つくる」「粘土にしてみよう」	2,3組6名（「だいふくん」）	大渕、 小学部教員2名	水につけた粘土片の塊を握り潰し、滑らかにした。楽しんでできた児童4名、ドロ土練ほがる2名
7	2018/9/12 13:20~14:30	附特支：1組教室	小学部「えがく・つくる」「粘土の再生」	1組5名（一人欠席4名）「えがく・つくる」	下岡、 小学部教員2名	9/11に砕いた土塊を更に叩き、ふるいにかける活動を行った。全員砂まみれになって楽しむ。道具使用・手で扱う児童3名、手のみ児童1名、欠席1名。
8	2018/9/18 11:20~12:00	附特支：前園前	小学部「えがく・つくる」「粘土になるかな？」	1組5名「えがく・つくる」	下岡、 小学部教員2名	写真記録有り。9/12で作った小石とサラ粉をどんなたらいの水の中に入れて混ぜていく。サラサラ水からドロドロ水への変化を味わう。楽しんだ児童5名、うち1名は、石の投げ込みを楽しみ、上澄み水は触れるもドロドロ水は触れようとしない。
9	2018/9/19 11:20~12:00	附特支：3組教室	小学部「えがく・つくる」「粘土になるかな？」	2,3組6名（3名欠席）「だいふくん」	大渕、 小学部教員2名	石膏鉢で水が抜けて、固まった粘土を練り、加工しやすい硬さに整え、次時間の体験に向け、丸や、皿状、ひも状の製粉を自由に楽しんだ。
10	2018/9/25 11:00~12:00	附特支：集会室	小学部「えがく・つくる」「どろんこプロジェクト」第2回	小学部児童1年～6年 全児童16名参加 2名欠席	加藤、谷村、大渕、下岡 小学部教員6名 ボランティア3名	粘土の変容を天秤と棒を用いた比較、全工程を加藤が実演、粘土をちぬの、手で叩く、指で押す、のし棒を使う等して平らに成形、積層、スクラッチ、スタンプ等道具を使い装飾、ひがや陶でんの器状に成形した。今まで触ることに躊躇する児童もいたが、今回は全員が触れる事、成形することを楽しんで行えた。20分時間を調整して行ったことで、片付けも行うことができた。
11	2018/9/27 11:20~12:00	附特支：1組教室	小学部「えがく・つくる」「粘土でべたべたころころ」	1組5名「えがく・つくる」	下岡、 小学部教員3名 ボランティア1名	ドロドロ粘土と積粘土を見比べたとて、積粘土を扱う。粘土の重みを体感し、手でちぎる・丸める・伸ばす・叩く・落とす、指で押す、のし棒を使う等して成形を楽しむ。ドロドロ粘土を数室の角に置いていると、そこに行き、触れて遊び始める児童1名、そこにもう一人加わり、鋼色を入れて着らしたり混ったりして遊ぶ。
12	2018/9/28	大学：彫塑研究室	第四回打ち合わせ 10月30日職員式確認			
13	2018/10/23 11:20~12:00	附特支：1組教室	小学部「えがく・つくる」「大きい粘土で遊ぼう」	1組5名「えがく・つくる」	下岡、 小学部教員2名	久しぶりの粘土活動のため、粘土板と袋に入った粘土の分配から行う。大きな塊に大興奮。その大きさのまま、粘土板へ。手の大きさより大きな粘土の加工に苦戦する児童もいたが、周囲の見様見真似でつつく・叩く・ひねる・ちぎる・丸める・転がす・伸ばす・重ねる・割に見立てる（クロサイ、おもち、○○レンジャー、ヒーロー等）・穴を空ける・・と展開。作った形を友だちの机に持っていき共有しようとする姿もでてきた。手拭きタオルは最後の片付けになるまで使用しようとする場面はなかった。
14	10月30日	大学：農園	作品贈呈式 「作品にお芋を盛り付け食べてみよう」	小学部児童1年～6年 全児童16名参加	加藤、谷村、青木、大渕、下岡 小学部教員6名 ボランティア3名	内容に関しては当付済みの資質にたがうての活動、確認として、高等部とのいもほり交流に、どろんこプロジェクト素材、作品贈呈式と出来たお皿でのお芋の試食会を行った。直前に変更された活動として、大学一回生３０数名の職員式の参加と同数程度の数にて大学一回生の試食会の見学が行われた。色が付けられた顔を大学生より手渡され、自分が作ったものだと思い出したのか、顔周だ児童がいたのが印象的だった。 ふかしたお芋を美味で渡すやでも、自分の創造をすっと手にした児童、自分のお皿の上のお芋を選んで取った児童、ただただ大きめのお芋を取ろうとした児童（演）、児童の行動が楽しく興味深い時間となった。
15	2018/10/31 11:20~12:00	附特支：1組教室	作品鑑賞	1組3名 2-3組だいふくく	大渕、下岡、小学部教員3名	できあがった作品の鑑賞を行い、一人ずつ写真撮影を行った。
16	2018/11/6 11:20~12:00	附特支：2組教室	作品鑑賞	2-3組みたらし8	大渕、小学部教員1名	

日時	場所	活動内容	対象者	スタッフ
2018/9/6 11:15~12:00	附属特別支援学校 集会室	学部PTA 「保護者体験ワークショップ」	附属特別支援学校小学部 保護者16名（全保護者参加）	加藤、青木、大渕、下岡

子どもたちの学校での活動を理解することにより、親子のコミュニケーションへとつながることを意識した「保護者の体験活動」。

みなさん久しぶりの体験に夢中です。。

日時	場所	活動内容	対象児童	スタッフ
2018/9/11 11:00~12:00	附属特別支援学校 集会室	小学部「えがく・つくる」 「どろんこプロジェクト」第1回	小学部児童1年～6年 全児童16名参加	加藤、谷村、青木、大渕、 下岡、小学部教員6名

粘土造形の全工程を実演で紹介。

粘土の乾燥した土塊を叩いて、割って、細かく砕く、みんな夢中です。。

土粘土の再生～粘土を叩く・割る・ふるいにかける～、粘土作り

日時	場所	活動内容	対象児童	スタッフ
2018/9/25　11:00~12:00	附属特別支援学校　集会室	小学部「えがく・つくる」「どろんこプロジェクト」第2回	小学部児童1年～6年　全児童16名参加	加藤、谷村、大渕、下岡、小学部教員6名、ボランティア3名

天秤で、粘土と棒の重さ比べ（粘土の重さを実感）。

自分の身体を使って。

棒の割を使って。

手やひじなど体を使って制作中です。いいかおです。

身の周りの物使って。

身の周りの物使って。

集中してます。

活動後はみんなで片付け。。

日時	場所	活動内容	対象児童	スタッフ
2018/10/30　10:30~12:05	柏原キャンパス：農園	作品贈呈式 「作品にお芋を盛り付け食べてみよう」	小学部児童1年～6年　全児童16名参加	加藤、谷村、大渕、下岡、小学部教員6名、ボランティア3名

大学の農園で芋ほり体験

大学生から完成作品を受け取る

粘土作品は、乾燥後、大学で焼成し完成。

完成作品でお芋をいただく

おつかれさま

＜まとめと展望＞
学校での活動を理解することにより、親子のコミュニケーションへとつながることを意識した「保護者の体験活動」から始め、子どもたちは、土塊、砂、泥、粘土と素材が変わる中で、「素材との対話」を通じて、思い思いの活動を展開した。 子どもたちには、自身の制作体験と完成作品との間に少しギャップを感じている様子が見られ、「またやりたい、次はどうしたい」といった主体的・対話的で深い学びにスムーズにつながらなかった面もあった。
今後、これまでの連携活動の流れを活かし、大学と附属間での新たな取り組みになる可能性もあり、次年度へつなげていきたいと考えている。